

対策室在宅医薬連携専門官の松下俊介先生より「外来医療の現状と今後について」と題したご講演をいただきました。

また、シンポジウムではテーマを「救急の地域医療エコシステム実現にむけて」として、倉敷市保健福祉局参事兼健康長寿課長 林 徹先生、水島協同病院院長 山本明広先生、茶屋町在宅診療所院長 亀山有香先生、倉敷中央訪問看護ステーション 金尾知子先生から発表をいただき、貴重な意見の交換ができました。

最後に27題の登録があった一般演題から5題の「優秀演題賞」の発表が行われ、盛会のうちに終了しました。

新型コロナウイルスの影響で、会場とネット配信のハイブリッド形式の開催となりましたが、137名ものご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、演者・シンポジストの皆様、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

第18回高知県支部学術集会

学術集会会長：高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
病院長 小野憲昭

第18回高知県支部学術集会は、新型コロナウイルス感染症の流行まん延で2年続けて中止・延期を余儀なくされておりました。ただ本学会が扱う領域は、病院経営・運営、医療安全、感染対策、クリティカルパス、地域連携、チーム医療等多岐にわたり地域医療に密接に関わる課題ばかりであり、今回テーマと決めておりました「働き方改革」についてもまさに「待ったなし」の時期となりましたので何としても開催することとし、2022年10月23日(日)にオンライン開催(テーマ：待ったなし 働き方改革!)いたしました。

特別講演には岡山大学病院ダイバーシティ推進センター長 片岡仁美教授をお招きし、「システムとマインドセットを変えよう」と題してご講演いただきました。一般演題も、県内医療機関から多職種の方々から49題の発表申込がありました。音声入りスライド録画発表の形式で発表、質疑応答はWEBにて行い、活発な質疑応答、時間通りの進行で進めることができました。

初めてのオンライン開催でありましたが、計171名にご参加いただき盛会のうちに会を終えることができました。参加者の皆さま、ご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

第21回山口県支部学術集会

学術集会会長：岩国市医療センター医師会病院院長
茶川治樹

日本医療マネジメント学会第21回山口県支部学術集会は、2022年10月29日(土)、当院の講堂にて開催され、山口県内の医療機関などから約90人の参加がありました。今回の集会では「コロナ禍の地域連携と地域貢献」をテーマとしました。日本に新型コロナウイルス感染症が出現して2年数か月が経過し、第一波から第七波まで政府や地方自治体が様々な対策をとってきました。その中で、医療機関は行政機関と連携しながら新型コロナウイルス感染症患者と関わり、それぞれの立場で「地域貢献」をしてきました。今回のテーマに沿って、特別講演では山口県健康福祉部審議監の石丸泰隆先生に「新型コロナウイルス感染症対策の今までとこれから」と題してご講演いただきました。また、岩国地域でそれぞれの職種の立場で新型コロナウイルス感染症患者に関わってきた方々にシンポジストをお願いしました。今回参加した皆さんから、大変有意義な集会になったとの言葉をいただきました。

皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

第20回九州・山口連合大会

会長：公益財団法人慈愛会今村総合病院院長 帆北修一

2022年
11月4日
(金)・5日
(土)にかご
しま県民交
流センター
で、日本医
療マネジメ
ント学会第
20回九州・



会場風景

山口連合大会を現地開催いたしました。天候にも恵まれ、全国から多くの方々にご参加いただき活発な議論が行われ、充実した大会であったと思います。

連合大会のテーマを「医療マネジメントの維新～燃ゆる思いで～」としました。プログラムは特別講演3題、招請講演4題、教育講演2題、教育セミナー2題、シンポジウム5題、ランチョンセミナー8題、イブニングセミナー2題、スポンサードセミナー3題、一般演題224題、クリティカルパスのポスター発表8題にて